

だんないの道

第12号

2014年2月23日発行

発行者：NPO 法人CIL だんない

代表者：美濃部裕道

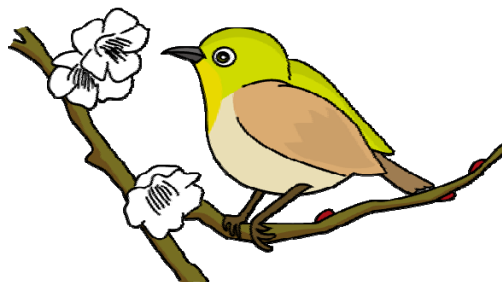
連絡先：〒529-0423 滋賀県長浜市木之本町

千田681番4

TEL : 0749-50-3639

E-mail : dannai@ae.auone-net.jp

代表あいさつP1
NMB48 と出会ってP2
自立生活をして変化した親子関係P3
活動報告P4
コラム よりの雑記帳P6
編集後記P8



代表あいさつ

年が明けて早くも2ヶ月が経ちました。今シーズンは厳しい冬になるとの予想があったので、ビクビクしながら過ごしていますが今のところはそれほど大雪にならず少し拍子抜けしています。大型スノーボードを購入し、大雪で除雪作業が必要な際に介助者不足で行き届かなくても当事者の移動手段を確保できるように考えていましたが、そのスノーボードの出番もありません。少しホッとしている、この頃です。皆さんは、どのように新年を迎えられたでしょうか。今年も、どうぞよろしく願いいたします。

今年に入って、1月20日、国連に日本が障害者権利条約を批准することを伝え、ようやく日本も批准国となりました。140番目の批准国となったことに遅れを感じつつも、批准のニュースを聞いた瞬間は歓喜しました。ただ、喜んでばかりはいられません。これから本当に障害者にとって住みやすい社会になるのか、しっかりと行方を見守りたいものです。

だんないでも、これまで以上に動きが出てきました。企画部の創設です。担当に研修生の小里を置きました。さまざまな企画を集約し、日程・内容・役割分担を決め、実行に移すというものです。これまでは各当事者職員が考え、散発的に企画・実行していたので、企画に統一感がなく、活動全体を見た時に一体感がありませんでした。まだ試行錯誤の段階ですが、より有効な仕組みを考えて活動を活性化させたいです。お店や駅の状況を調べるバリアフリー調査や、料理を作ったり買い物をしたりする自立生活プログラムなどを企画して、これまでとは一味違う、だんないをお見せできればと考えています。

さて、ご紹介したいイベントが2つあります。1つは、3月16日(日)13時30分～、勤労者福祉会館「臨湖」にて開催される「湖北圏域重度障害児者医療ネットワークフォーラム」です。湖北地域に住む医療ケアの必要な重度障害児・者の医療問題を共有し、課題解決に向けて方策を考えることを目的として開催されます。だんないからもパネリストの1人として、参画することになっています。

もう1つは、4月13日(日)13時～、同じく勤労者福祉会館「臨湖」で開催させていただく「だんない3周

年記念シンポジウム」です。今年で3回目となるシンポジウムのテーマは「教育」です。ともに学ぶ教育が世界的にうたわれるようになった今日、日本でもようやく分離教育が問われるようになりました。しかし、滋賀・湖北では、まだまだともに学ぶ教育が重要視されていないように感じます。そこで、このシンポジウムを通して、障害児教育の進むべき方向性やあり方を考える機会にしたいと願っています。お時間があれば、是非どちらのシンポジウムともご参加ください。

春の訪れはもうすぐですが、インフルエンザやノロウィルスが依然として流行っています。体調には気をつけて、今年もよりパワーアップした活動を続けていきたいものです。介助職員の不足により活動に制約が出ているのが今の状況ですが、それでも私たちなりに精一杯頑張っていく所存です。今年も変わらず、ご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

美濃部 裕道

NMB48 と出会って

研修生 小里和也

私は、NMB48の大ファンです！

NMB48とは、2010年10月から活動を開始したアイドルグループ。コンセプトは「会いにいけるアイドル」で、大阪・難波(なんば)のNaMBaの頭文字を取って「NMB48」と命名された。東京・秋葉原のAKB48の全国展開第1弾として08年に名古屋・栄のSKE48が誕生、第2弾として大阪が選ばれてNMB48が生まれた。

代表曲は、「北川謙二」や「僕らのユリイカ」や「カモネギックス」などのヒット曲があります。そして、去年は大阪城ホールでの3周年ライブの開催や、目標だった紅白歌合戦にも出場しました。

好きになったきっかけは、活動拠点が関西ということもあり、すこしは興味があってライブに行ったことです。そして、彼女達の魅力にはまりだしました。その魅力は、メンバーが明るく面白く個性的で印象に残りやすい曲が多いことです。僕はその中でも関西弁がすごくかわいらしいところが好きです。

そして、特に一押しなのが山本彩(さや姉)です。さや姉は、20才でNMB48のキャプテンを務めています。かわいいのはもちろん、その他にもかっこいい一面や面白い一面もあり、みんなに頼られるNMB48には欠かせない存在です。あとの魅力は、僕のところに来てくださったら詳しく説明いたします。

僕は、今までに3周年記念ライブや劇場公演や全国握手会に行きました。劇場公演は、大阪の難波にあるNMB48劇場での公演で、4チームに分かれ、ほぼ毎日のように公演を行っています。僕はその劇場公演に介助者と一緒に難波まで電車で行っています。この公演のすごいところは、メンバーとの距離が近く、目が合ったりして、なんともいえない感じです。そして、なんと最後にお礼の代わりにハイタッチで見送ってもらえるのです！僕は初めて行ったとき、すごく感動して「これぞ、会いに行けるアイドル！！」と実感しました。

またこの間、全国握手会に行ってきました。握手会でうれしかったことは、メンバーたちが僕の目線に合わせてくれたり、笑顔がすごく可愛かったり元気がもらえたことです。僕はなんと、その日11人と握手しました！あ〜可愛かった。

NMB48と出会って毎日楽しいし、次に会えるのがすごく楽しみで元気がもらえます。この元気をパワーに変えて、これからもだんないの活動をしていきたいです。

あー—————よっしゃ行くぞ—————！！(ライブでのファンの応援)



自立生活をして変化した親子関係

研修生 中川佑希

今年で僕が自立生活をして4年目になります。思いおせば辛かったことも楽しかったことや沢山の出会いがありました。

きっかけは実家で、ある意味何不自由なく暮らしていたことだったような気がします。ただ「自己選択・自己決定・自己責任」とは、ほど遠く両親や兄弟の都合に左右されていました。例えば、休日に行きたい所があっても親の顔色を気にして言えなかったり、欲しい物があっても代わりに買って来てもらったりしていました。一見、どこにでもあるようなやりとりですが、当時は出かけるのも大変なので頼む方が良いのではないかと感じていました。でも、同世代の友人は映画や買い物などに当たり前に行っているのに、なぜ自分は出来ないのかと疑問を感じつつも、障害があるから仕方ない・・・いや、関係ないのだと自分に言い聞かせていました。

僕は両親に初めてヘルパーの利用をしたいと伝えたのですが、「人の手を借りなくても行きたいところがあれば連れて行くから」と反対されました。制度を使うことに抵抗もありました。「自分の子は自分で」という考えが強くあり、それがずっと続いたことによって空気を読むようになってしまいました。言いたい時に言えない。次第に伝えるのを止めてしまいました。電動車いすに乗って出かけた時、高校生でも17時が門限でした。自分の人生は親の人生の延長線にあるような感覚で、どんなふうに生きていきたいのかを話し合う機会がありませんでした。本人抜きで決めているという現状は今でもあります。

なぜなら社会の障害に対する見方・捉え方が誤っていて「医学モデル」を思い込まされていたと思います。「障害をもって生まれてきた自分は不幸だ」と自己否定をした方が正直、楽でした。地域の人や学校の先生からのバッシングがあって、僕も親も社会からの抑圧を受け続けていました。

それを変えるためには、地域の中で僕が自立生活をしていき、言葉で「自立生活をしたい」と言うのが大切だと思います。しかし、イメージするのは難しいです。時には当事者の先輩の話聞き、地域資源を利用しながら生活をしている状況を知るなどしていけば、周りの意識も少しずつ変わっていくかも知れません。施設やグループホームも選択肢の一つであり、どんなに重度な障害あっても十分な情報と支援があれば自己選択をし、自立生活が出来るということを、私はたくさんのお会いの中で知りました。

僕自身が自立生活して、特に変化を感じたのは親子関係です。最初は理解が得られず、親との距離や関係がギクシャクしたこともありましたが、今となってはそれも良い思い出です。

自立をして初めての年末、実家に帰ろうと勇気を出して母に電話をした時のことです。

「あーお正月に帰ろうと思ってるんやけど」

「帰って来ても誰も居ないで。旅行に行くから」

と言われて驚きました。もしかして、僕より羽を伸ばしているんじゃないか(笑)

最近では心配してるかなと思って電話したら「なんかあった？」みたいなあっさりした感じで・・・僕自身が全く想像していなかった変化でした。

「僕が自立生活をする＝親も自立が出来る。」このように、お互いが自分らしい人生を構築していける。そして、一人の人間として社会からの抑圧に解放されるのです。これかも自立生活をおう歌していきたいです。

活動報告

日付	内容	参加者
10月17日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 相談ワーカー部会	美濃部 市川
10月18日	リングリング ピアカウンセリング集中講座	小里、中川
10月19日	プレワークショップ in ぼてとファーム	美濃部 小里 中川
10月20日	滋賀自立生活センター20周年シンポジウム	美濃部 小里 中川
10月22日	愛知トライ2013	頼尊 中川
10月23日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第19回湖北自立生活塾	全員
10月25日	長浜養護学校 評議員会	美濃部
10月25日	長浜養護学校 文化祭	美濃部
10月25日	長浜市地域福祉活動計画 第4回策定委員会	美濃部
10月25日	リングリング ピアカウンセリング集中講座	小里、中川
10月26日	ぼてとファーム評議員会	美濃部
10月28日	天気村 講演	中川
10月29日	アクセス関西会議	頼尊
10月29日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達しょうがい者支援部会	頼尊
10月30日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第20回湖北自立生活塾	全員
10月30日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達しょうがい者支援部会 事務会議	頼尊
10月31日	湖北地域福祉の職場説明会	美濃部 市川 小里 中川
10月31~11月3日	DPI エンパワメントスクール	頼尊
11月1日	湖北圏域ワークショップ開催に向けた協議	美濃部
11月1日	リングリング ピアカウンセリング集中講座	小里、中川
11月2~11月3日	ピープルファースト大会	頼尊 美濃部 小里 中川
11月5日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会 事務局会議	美濃部 頼尊
11月5日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会	頼尊
11月6日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達しょうがい者支援部会 虎姫認定こども園 見学	頼尊
11月8日	リングリング ピアカウンセリング集中講座	小里、中川
11月8日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達しょうがい者支援部会	頼尊
11月9日	糸賀一雄生誕100周年記念事業 湖北圏域ワークショ ップ	美濃部 頼尊 小里 中川
11月10日	糸賀一雄生誕100周年記念事業 湖東地域ワークショ ップ「誰もが暮らしやすい福祉しがづくり」	頼尊 小里
11月11日	長浜高校 講演	美濃部
11月12日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会	頼尊

	重介護・医療ケア検討部会 事務局会議	
11月13日	野洲高校 講演	中川
11月14日	長浜北星高校 講演	美濃部
11月15日	リングリング ピアカウンセリング集中講座	小里、中川
11月17日	差別解消法と教育シンポジウム	頼尊
11月18日	じゅぽ会議	中川
11月19日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達しょうがい者支援部会 柏原小学校 見学	頼尊
11月19~11月20日	関西IL合宿 in アミティ舞洲	頼尊
11月20日	湖南農業高校 講演	中川
11月21日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 相談ワーカ一部会	美濃部 市川
11月23日	第4回長浜市社会福祉大会	美濃部
11月24日	湖南圏域重度障害児者医療ネットワークフォーラム	頼尊
11月25日	第2回かがらがい寄席 in 能登川	小里 中川
11月27日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達しょうがい者支援部会 西浅井認定こども園見学	頼尊
11月29日	リングリング ピアカウンセリング集中講座	小里、中川
11月30~1日	第2回DPI 障害者政策討論集会	頼尊
12月2日	国交省バリアフリー会議	頼尊
12月3日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達しょうがい者支援部会 杉野小中学校 見学	頼尊
12月4日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達しょうがい者支援部会 高月中学校 見学	頼尊
12月8日	だんないピアカウンセリング	美濃部
12月8日	2013 人権週間開催 人権尊重と部落解放をめざす 県民のつどい	小里、中川
12月8日	ハクバクの会関西支部 医療的ケア研修会	頼尊
12月9日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会 事務局会議	頼尊
12月10日	湖水の会 講演	美濃部 頼尊
12月11日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達しょうがい者支援部会 子ども自立の郷ウォームアップスクール 見学	頼尊
12月11日	だんない交流会	
12月12日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達しょうがい者支援部会 彦根総合高校 見学	頼尊
12月12日	糸賀一雄生誕100周年記念事業「誰もが暮らしやすい 福祉しがづくり」高島圏域ワークショップ	美濃部 小里 中川
12月13日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 運営委員会	美濃部
12月14日	権利としての介護保障を考える講演会	頼尊
12月15日	大阪障害者自立セミナー2013	頼尊
12月16~12月18日	2013年度JIL 全国セミナー	頼尊 中川
12月19日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 相談ワーカ一部会	美濃部 市川

12月21～12月22日	バクバクの会研修	頼尊
12月25日	大津市立逢坂小学校 講演	中川 小里
12月25日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達しょうがい者支援部会	頼尊
1月8日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会	頼尊
1月11～1月12日	病弱教育セミナー2014	頼尊
1月13日	障害者医療問題全国ネットワーク第11回シンポジウム	頼尊
1月14日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会 事務局会議	美濃部 頼尊
1月15日	だんない企画会議	
1月16日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 相談ワーカー部会	美濃部 市川
1月17日	リングリング ピアカンオンゴーイング	頼尊 中川 小里
1月18日	発達障がい裁判員学習会	頼尊
1月19日	重度障害児・者の在宅医療を考えるin草津	美濃部 頼尊 小里 中川
1月20日	じゅぽ会議	中川
1月22日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達しょうがい者支援部会	頼尊
1月22日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護部会	美濃部
1月23日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会	頼尊
1月24日	長浜市地域福祉活動計画 第5回策定委員会	美濃部
1月24～1月25日	DPIエンパワメントスクール人権集会	頼尊
1月26日	座学 北村小夜さん講演	頼尊 中川
1月29日	アクセス関西事務局会議	中川
1月31日	長浜市障害福祉計画ヒアリング	美濃部 市川 頼尊

コラム

ヨリの雑記帳（11）

私は、これまで断続的に障害／障害者関連の映像資料の収集・保存活動に関わってきた。私がかかわっているそれは、映像アーカイブスとしては、まだまだ弱小としか言いようがないが、僅かであるが貴重なもの個性的なものもある。

アーカイブスの内容を改めて見ると、日本で製作された映像資料だけを見ても、製作された年代や製作元によって特徴が分かれているとも言える。たとえば、それは障害、あるいは障害者をどのように描くかはもちろんのこと、音楽の付け方や頒布方法に至るまでさまざまである。

一般的には、ここ数十年間の障害者福祉の世界のトピックとしては、「哀れみの主人公から権利の主体へ」という思想的転換が見て取れる。しかしながら、映像の世界では、障害者運動団体が製作した一部の映像資料を除いて「権利の主体としての障害者」というタッチで描かれたものは皆無に等しいといえる。

この実情に私は、実に注目せずにはいられない。なぜならば、「ナチスドイツ期の音楽・映像作品」と言われるように、映像や音楽は時として、無意識的に国民の心情や思想に働きかける効用をもっているからである。ナチスは映

画や音楽を国民の戦意高揚に最大限利用した。これは、実はナチスという「対岸の火事」のようなものではない。諸説はあるが、日本においても同様に音楽・映像作品というメディアを通して国民の意識や思想に訴えることが行われている。たとえば「赤とんぼ」や「この道」などの歌曲の作曲家としても有名な山田耕筰も戦時期には、「カンタータ 聖戦賛歌 大陸の黎明」や「御大典奉祝前奏曲」など、戦争や国威向上に関わる曲も作曲している。また、この傾向は戦時期にとどまらない。先の大震災においてACジャパンが放映した「あいさつの魔法」は、その事例のひとつであろう。ACジャパンはもともと国民の公共意識を高めることを目的とした財団法人であるからその目的と合致しているといえる。

話題をアーカイブスの内容に戻すと、最近、ご縁があって某市の関係団体が所持していたであろう人権関係の16ミリ映画フィルムを中心とする人権関係のフィルムの入手に成功した。それは、人権教育がDVDやビデオではなく、映画で行っていた頃、つまり、ひとむかし前の映像資料ではある。そこに描かれている障害者は決して権利の主体としての障害者ではなく、「かよわくて、保護が必要な人」としての障害者像である。つまり、障害者に「何かをしてあげる」ことが、人権の尊重であり、やさしさや思いやりであるというタッチなのである。

私は、「やさしさ」や「おもいやり」を否定したいわけではない。むしろ、そのことの大切さは十分ほど理解している。だが、「権利の主体としての障害者」像が向け落ちると、それは「やさしさ」や「おもいやり」の押し売りになってしまい、本当の意味での人権の尊重につながらないのではないかと危惧しているのである。

ナチスのような戦意向上のためのメディアの利用について思いを馳せた時、人権教育等のメディアにおいていかなる形で障害者を描いていくべきかもっと慎重な議論が必要になるのではないかとということが思い起こされるのである。私がかかわっているアーカイブスの活動はそのような警鐘を無言で私に語りかけてくれるのである。

(よりたか つねのぶ)



編集後記

年が明けて早くも2ヶ月が過ぎようとしています。ようやく「だんないの道十二号」を発行することができました。

この冬、滋賀では思ったより雪が少ない気がしていますが、東京などでは予想以上の積雪があり、全国的には大雪の年だったと言えるのでしょうか。

さて、だんないでは広報活動としてブログ・フェイスブックを開設しています。しばらくはほぼ休眠状態でしたが、今後は活動内容なども投稿していければと思っています。よければぜひ読んでみてください。と言いつつ、最近また更新が止まっているような・・・

(市川)



NPO 法人 CIL だんない

代表 美濃部裕道、副代表 市川正太

事務局長 頼尊恒信、理事 横山卓馬

URL : www.ab.auone-net.jp/~dannai

郵便振替口座番号 : ゆうちょ銀行木之本支店 00940-2-209115

加入者名 : NPO 法人 CIL だんない

〒529-0423

滋賀県長浜市木之本町千田681番4

TEL : 0749-50-3639

FAX : 0749-50-3961

E-mail : dannai@ae.auone-net.jp